様式4

学校番号　（　中　１５　）　　学校名　（光が丘第一中学校　）　　教科名　（　理　科　）

| 指　導　技　術 | | 観　点　別　の　授　業　改　善　の　視　点 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 教　師　の　指　導<br>（授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等） | | 関心・意欲・態度を向上させるための手だて | 思考・表現を向上させるための手だて | 技能を向上させるための手だて | 知識・理解を向上させるための手だて |
| 導入 | ・**（授業規律）**チャイム着席、チャイム始業の徹底。教師自ら時間の大切さを示し、習慣化させていく。特に、実験では安全確保のためゆとりをもって取り組むことの大切さを1年次から伝えていく。<br>・**（ノート指導）**板書事項を整理し、ワークシートに対応させる。<br>・**（板書）**本時のねらいや単元名を提示する。<br>本時にかかわる、教科書、ノート、資料集の該当ページを黒板の端に明記し準備をさせる。 | ・教室での授業の時も視聴覚教材を積極的に取り入れ、写真資料及び実物を提示していく。<br>・ワークシートに自己評価欄をつけ、本時の目標点や課題を明確にし、見通しをもたせる。 | ・新しい単元の時は、身近な事象を取り上げ、日常の中にある疑問「なぜ」「どういうして」を喚起していく話題を提供していく。 | ・実験の装置等はワークシート（または理科ノート）に記載していくだけでなく、ポイントを押さえたわかりやすい絵を板書したり、画面で提示していく。特に安全管理上大切なポイントは、教卓回りに集め、直接器具を使って操作方法を明示していく。 | ・前時までの既習内容のポイントを振り返らせる発問をかけ、本時のねらいと内容を提示することで「学びの連続性」をもたせる。<br>・ミニテストなどを実施し、学習の定着を図る。 |
| 展開 | ・**（板書）**レイアウトを考え、色分け、マグネットシート等を使い、ポイントを押さえた用語とわかりやすい図や絵の工夫をする。<br>・**（教材提示）**大型TV、教材提示装置やプロジェクターなどの視聴覚機器を準備し、五感を刺激する提示を工夫する。<br>・**（ノート指導・発問）**「説明」時は全員を教師に視線を向けさせ、「ノート書き込み」と重ならないように配慮する。<br>・**（安全指導）**実験時の机上は、ワークシート（または理科ノートの該当ページ）と筆記具のみとし、安全面に考慮した十分な空間を確保する（または、実験の方法の画面をスクリーンに提示しておく）。 | ・自ら課題を設定し、主体的に取り組むことのできる「課題解決的な学習」の展開を取り入れ、学ぶ意欲と課題を解決する能力の育成を図る。<br>・手作りの教材(教材開発）や身近な教材を多用し、実物提示をし、よりわかりやすい説明を工夫する。 | ・実験結果や資料を分析し、結論が導きやすくしていくよう、条件統一と相違点に着目させる。<br>・実験操作や説明用の図を多く取り入れると同時に、課題を解決させる手掛かりとなるヒントや考察を取り入れ、科学的思考や表現力の向上を図る。<br>・課題が解決しにくい生徒には、その状況を判断し、的確な指導助言を与える。 | ・作図やグラフの作成方法を教材提示装置による映像をTV等に映し出し、表現の仕方をわかりやすく説明する。<br>・生徒のまとめや作図のよい例を提示し、紹介していく。<br>・備品、実験器具を決められた場所から必要に応じて出し入れできる実験室環境を整えていく。<br>・実験の結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けさせる。 | ・ノート点検を通して、ワークシート（理科ノート）の余白やノートに「説明内容」のポイントがまとめられている(復習）されているかを点検し、評価していく。 |
| まとめ | ・**（板書）**　本時の指導展開と学習内容を再度確認、復習しまとめていく。<br>・また、次時の内容や課題を提示し、学習の流れに見通しをもたせる。<br>・**（評価）**　ワークシート（または理科ノート）、自己評価、相互評価を通して、本時の目標の達成度を確認する。 | ・ワークシート（ノート）を提出させた時は、自己評価と共に、意欲を喚起させる教師側からのコメントを入れていく。<br>・実験時は、班全員で協力し片付けさせ、報告させる。<br>・物品の確認(物品チェック表） | ・ワークシートの中にある、思考や判断力を向上させる。考察や自己評価カードが的確に記入されているかをチェックし提出させる。必要に応じて指導助言を与える。 | ・ワークシートや自己評価カードを提出させ、本時の課題が達成しているかを確認し、必要に応じたコメントを入れてフィードバックしていく。 | 板書事項やワークシートを確認・復習し、既習事項を反復していく。 |